

さて、あなたの事だから趣味一般板はよく見ていると思いますが、あそこ
に書いた通り、何者かによって攻撃されて凍結されました。なお、この
DMでは私は「熾」であると認めますが、表のツイートでは無関係という
ことにします。

3月16日

 了解 🗑️

3月16日

あ、前のアカウントのDMって、そちらのリストからは消えてるんでしょ
うか？ 私の昼の発言（ペンテドロンのジメチル版についてなど）は既に
読まれたのか、気になります。

3月16日

 まだ読めるね。見たけどなかなか文献内容読み解けなくてw


3月16日

あ、
そうなんですか。私の方は、PC版だと、ダイレクトメッセージの送受信
の相手一覧と、そこに表示される最終発言（冒頭のみ）は見れますが、ク
リックしても
エラーになって中身は出ません。しかし、モバイル版はクリックすれば、
最後の数発言のみ見られます。あと、ついづるなどの外部アプリでも、
最近の分だけ
取り出せます。

3月16日

少
し前に私があなたに「で、ボブ氏さんは何かそういう「みんなは知ってい
ない特技」というのがあるのか、結構気になっている。もちろん、「英語
に堪能で、海
外のドラッグ論文を読みまくってる」という優秀な人であるのは私も知っ
てる。まあ、お互い頑張りよう」とツイートした時のあなたの返事（多分、
「熾に励ま
されてしまった」という感じの）は、削除されたんでしょうか？ いや、特
に大事な話ではないんですが。

3月17日

 こちらが送ったDMは残ってるけどあなたのDMはここ1ヶ月くらいのログ
を残して消えてるね...


3月17日

ああ、なるほど。あー、あなたの分はバックアップ取っておかなかったの
で惜しいです。

3月17日

ちなみに @KojiWkj この方はリアルの知人なんですか？

3月17日

 いや、知らん人。フェナゼパムについてツイートしてたからフォローし
た。

3月18日

あ、そうですか。ちなみに、キリユさんのログの件、すでに知ってますか？

3月18日



冒頭をちらと見させて貰ったけど。

3月18日

そうですか、読むの大変ですねw

まあ、私は、感想とかアドバイス聞きたいです。

逆に、あなたが何かやる時の参考になったりして？（おこがましい？w）

3月18日

twitter.com/cocaine_lolita この人とはフォロー関係でしょうか？ 昨日から非公開になったのですが、良ければ、スパイ（何をツイートしてるかを転送）してくればありがたいのですがw

3月18日

あの、良ければあなたに化学物質のサンプルをお送りできます。ただし、「P」は在庫切れですが、「粗製D2」と、「M」はあります。

3月19日

あ、今回、多分「D2」の第二陣はないです。今日中、送り先分からなければ多分D2は品切れになると思います。

3月20日

おーい、希望ないの？ それとも、「P」以外欲しくないってこと？ まあいいや、あと少しでみんなに発送する。

3月21日

最近忙しいですか？

3月24日



まあツイッターはあまり見てない感じではある。

3月24日

そうか、なぜかゲームのプレイ実況しまくってるイメージがあるけどw

3月24日

化学とかの話で私に聞きたいことある？

3月25日

ああそうそう、例のコカインなんかかってやつをツイートを転送してくれば、私はあなたに感謝したい気分になる。ただ、Pは残念ながら在庫切れなんだ.....でも、Pの作り方を教えてもいい。

3月25日

あ、ところで、今「P」はなんて物質なのか把握（推測）してる？

3月28日



見当もつかないねー

3月28日

ああw

なんだ、キリコ氏とのあれ読んでないのかw

3月28日

ボブ氏 @zap...
【朗報】oxy再び
封印され無事死亡

twitter.com/zapabob/status... これ

について。こんなこと→

twitter.com/zapabob/status... をよく
言ったりするあたり、別に判定され
ても全く不思議じゃないし。

3月29日

ディレグラ飲んでるのか？ 私、あの薬の片方のやつの構造が最近気になる。理由は言わなくてもわかるよね？w

3月29日

うん花粉症でね。抗His薬の方の構造かな？

3月29日

そう。あれの基本部分、窒素の位置を2つずらすとピプラドロールになるよね。で、窒素の位置が一つずれただけの物質はどういう薬効なんだろう時になるんだけど、あまり情報がなく.....

3月29日

ピプラドロールは、特に抗ヒスタミン剤という話はないみたいなので、ピプラドロール自体はそんなに抗ヒスタミン作用・抗コリン作用は強くないんだろうと思う。しかし、それに修飾をすると、まあ色々あるわけで、なかなか奥深いと思うw

ただ、ピプラドロールは運動神経失調という副作用があって、それが理由で市場から消えてしまったらしいので、もしかすると、抗コリン性の運動神経失調なんだろうか、と思ったりする。

3月29日

ピプラドロールの構造異性体のアザシクロノール(抗幻覚剤)の活性代謝物が第2世代抗ヒ剤のテルフェナジン(体内でフェキシソフェナジンへと代謝される、心毒性あり)って流れらしいね。

3月29日

そうそう。アザシクロノールはピプラドロールと違って窒素は4位で、おそらくアッパーではないらしい。でも、さっき言った窒素4位のピリジニアナログは窒素2位のピリジニアナログと同じようにドーパミンとかに結構作用するみたい。ここら辺、新規構造として結構興味がある。ただ、私なんかがかうかつにここら辺いじくと、さっき言ったように糖尿病誘発という弊害が出たりするわけ

で、うかつに「ピブドロールの窒素を3位に変えたらどうだろうか？」という発想で、
開発するのめためられる。

3月29日

ピ
リジンアナログの、2位の物は膵臓細胞に対する毒性はなく、3位の物については不明。で、ピブドロールの窒素にさらにメチル基付けたりした場合、合成が容易になったりするけど（いわばメチル基が保護基の代わりになるので、第2級アミンよりは自己反応とかが起きにくくなるはず。例えば第2級アミンだと、同じ化合物内にカルボニル基を付けると、自己反応してしまうが、第3級なら大丈夫なはず）、それが安全かはわからない。リタリンの場合、あそこにメチル基が付いたアナログのIC50とかは一応出てたはず。。

まあ、変な話だけど、糖尿病に詳しいあなたなら、もしかして色々知見があるかな、と思って。

3月29日

糖

尿病誘発(β細胞破壊)の下りは気になるね。文献、議論どっちかわからんが詳しく見たいね。ってももうHbA1cが4.8しかない(正常下限4.6)のでリスパダールが遠因の一過性の糖尿病かなあと思っとるけどね。フェニデートのNにアルキルにくっつけた特許はBLにあったのを発掘した。落ち着いたら読む。
アミン窒素の位置変更は全く違うタンパク、酵素ヘターゲットが行くから下手すると細胞毒性(アポトーシス誘導やらなんやら)起こすから慎重に...
単純な鍵穴モデルではわからないことも起きるから

3月29日

っていうかあなたが今すでに「P」の構造を知ってるのか、微妙にはっきりしなくて、どこまで話振っていいのか悩むw

3月29日

その4位ピリジンタイプの糖尿病の話は、ブルーライトかドラッグフォーラムで、「糖尿病」とか「ランゲルハンス島」という単語（機械翻訳）で誰かがちょこっと触れてた気がする。

3月29日

あ、あとピリジン系ドラッグは塩にしなくてもそれなりに水に溶けて摂取可能なのだろうか、とか、そんな物性面も興味ありw

3月29日

ああ、構造は分からないよ大丈夫、あれかなあこれかなあと色々調べはしたりはするけど所詮浅知恵ですわ。

3月29日

あ
と、ピブドロールの窒素を3位または4位にすると、水酸基が抜ける脱水反応が起きえるようになるんじゃないかと思う。これ、まさにMPTPが合成された時の副反応と同じで、第3級アルコールは脱水されやすいということ、

例のアメリカの大学院生（MPTPでパーキンソン病になった人）は失念して、手っ取り早く製造するために熱を掛けたら、脱水が起こって、それがあれだったという..... もちろん、ピプラドロールの方はフェニルが二つ付いてるし、別にMPTPと構造が似てるわけじゃない。ただ、3位または4位に窒素を移した後、窒素にメチル基まで付けると、微妙に嫌な予感がある。アルキルピリジニウムって何か毒性があるものが多いし。MPTPやパラコートやジクワットなど。

ああ、なんだw キリコ氏とのあれ見ればわかっちゃうけどね。

あなたの事だから、もう見てるかと思った。以前、Pの正体を知りたがっていたし。

ちなみに「あれかなあこれかなあ」というリストを今のうちに聞かせてほしいw

3月29日

あとチペピジンというドラッグも、ちょっとピプラドロールの3位アナログに似ている。アップパーではなく鎮咳薬。

3月29日

なお、ピプラドロールのベンゼンをチオフェンに変えると活性がなくなる、と海外掲示板に書いてあったんだけど、その論文が全くみつからなくて苦労しているw 私が知りたいのは、チオフェンを2-チエニルにした場合も3-チエニルにした場合も活性は無くなるのか？という点。

で、前記のチペピジンは、これによって、アップパーとしての活性がなくなり、医薬品に出来たのかも？ まあ、3位になったうえでしかも二重結合が付いているという違いがあるけど。

3月29日

4-ベンジルピペリジンなんかの例もあるように、4位でも効果があったりするの確か。

3月29日

あ
あごめん、さっきのピプラドロール3位の物がMPTPみたいに脱水するという件、構造見ないで考えたので、杞憂だったかも。MPTPみたいに、輪の中に二重結合ができるんじゃなく、脱水したとしても、チペピジンみたいに輪の外に二重結合になりそう。ただ、二重結合の位置が動いたら別。

3月29日



話突然変わるけどエロタコ系はまだ色々難しそう？

3月29日

アップ屋のFMをすみっこさんがメフェドロンだと推測してるんですが、うーん、どうなのでしょう。なお3,4-CTMPを初回60mgもやって、心臓が痛くなり、しばらくしてFMを摂取して、「死にそう」とか言っていました。

3月29日

えーと、MDMA系？ 5MeO-DiPT系？ ケト基がないMDMA系は私には難しい。ジフルオロメチレンジオキシは、弱いという海外論文は出てる。そして、

途中で送信したw

3月29日

MDPVのジフルオロメチレンジオキシは、私が炙ったらほとんど効果なかったような.....ただし、本物か分からない。、MD基をジフルオロにする
と沸点が下がって、炙っても焦げないようになるはず。で、実際焦げなかったと思う。しかし、効果もないのでは、作る意味がない。

3月29日

5MeO系については、まだ有望な構造あり。検討中。ただし、ある業者さん（確か灯草やくさん）に、「アッパーの良作が出ないうちにトリプタミンが出て意味がないので」と言われ、これで私は方向転換した。つまり、アッパーを出してから着手する。

3月29日

ああ、そうそう、MDMAやメチロンに近い構造の物は、構想してる。ただ、これ、過酸化作りやすいらしくて、保管中の変質とか、自然発火とかがあったりすると嫌なので、ちょっとね.....サンプル郵送中に発火したら大問題だし。

3月29日

ああ、ところでGABA系については私は全く素人なんですけど、
ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8B...%E3%82%A4...

3月29日

ああ、ところでGABA系については私は全く素人なんですけど、
ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8B...%E3%82%A4... この二つがGABA系に作用するようで、
ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4...
どうもバルビツール酸系やベンゾジアゼピン系の睡眠薬に関わっているようです。で、前記の二つのアミノ酸は、直接摂取した場合、何か起きるでしょうか？
なぜこんな疑問がわいたかと言いますと、ピプラドロールの3位、4位アナログの原料だからです。ちなみにピプラドロールそのものの原料はピペコリン酸（さらにエステル化する必要がある）です。

3月29日

全部読むの大変なので逐次読破しながら計算してたけど答え乗ってるやんけP...6時間返してw
もう一つは計算ちう
GABA系は分からない。

3月30日

モルモット(意味深)のフィードバックは如何？
オレンジ🍊のモルモット暫く見てないけど安否確認してる？

3月30日

あ
のね。勉強になったでしょ。なお、「P」の正体は伏せます。ほとんどの

人にはあれ読めば分かってしまいますが、私は明言しません。なぜかと言うと、私の技術力不足とかで、主成分があれでなかったとした場合、「P」の正体は○○だと化学名を言ったら、「希望的観測」で物を言ってることになるからです。

6時間返せて、私が、ここまでいろいろなことを実地でやりつつ時間を使いまくったのに、あなたはたった6時間の読書も惜しむのか？

3月30日

ま
あ、あの文書は、キリユ氏が元気がなくなったころ（2015年夏から現在まで）についてはほとんど私の動向が載っていない。それはルイスはかせさんとアレゲ化学さんのDMにある。ただ、二人はキリユ氏と違って、DMの公表を快く思わないと思う。なので、私はある業者に対して指摘にDMログを送るのにとどめる。悪いけど、まだあなたとはそこまでの関係ではないので.....なお、もちろんあなたがこの二人に直接連絡を取っても、それは問題はない。私は、この二人とのDMが漏れても、さほど打撃を受けないけど、二人の方が困ったりする可能性もあるので、私からはちょっとね。

3月30日

っ
ていうか、私、あなたがツイートで、逐次私の文書を読んでるらしき報告をしてるのを見て、「えらいなあ。一番下から読んでいけばすぐわかるのに、推理小説を読んで犯人当てをする時みたいに、きちんと一番初めから読んで、推理しようとしている」と感じた。で、結構感心したんだけど、まさか、そうじゃなかったとはwww

っていうか、「P」は2017年初頭の作品なんだから、2015年のメッセージを読んでも関連する情報が載ってるわけないでしょ。「P」の構造が手っ取り早く知りたいなら、2016年末あたりから読み始めればよかったのにwww

3月30日

私もこの文書を公表する前に、載せてはいけない情報がないか確認するため、12時間以上掛けたよ。6時間で済むとは、むしろ早い方。

3月30日

いや、俺はヲチ専だからそこまでの関係になるうとも思っていないんだが...
まあ院生レベルの合成プロセスやらスキームやらを実戦で身につけるとは...
流石にかなわないっすわ。(間違いなく学生実験レベルは超えてる)
思考プロセスとか見たいから頭から読むよ。索引ついてるわけじゃなし。
まあご安全にやってくれ。成功を祈る□

3月30日

あ、やっぱり院生レベルなんですか？ キリユさんもそう言ってましたけど。

3月30日

ちなみにあなたの化学実験レベル（理論・知識と、実技の二つに分けて）

と比べてどうですか？

3月30日

あ、というかあなたの化学レベルについて実はよく知ってないんですけど、例えば学歴（大卒・院卒とか）や学部（理学部とか薬学部とか工学部化学科とか）ってどのくらいなんでしょう？

3月30日

んー、複素環の化学、医薬品化学って学部ではあまり教わらないしね...俺は両方(俺が)負けてると思うけど？理学系化学科中退(四年時)だからクソだよ。そりゃ満遍なく一通り化学は学んだけど。有機、実験ともに苦手なんだよね実は



3月30日

ま

あ、あの資料は、2015年の超初心者の段階（失敗ばかりして、ろくなものが作れていない）から、1年半ほどたって、キリユさんが留守のうちに、いきなり α -PiHPとか「P」とかをしっかり作れる技術力を身に付けて結果報告するので、なんか三国志の「呉の阿蒙（呂蒙）」のエピソードみたいになっていますが、残念ながら、その1年半ほどの修業期間については、まだ私は公表する予定はないですwww

3月30日

そ

うでしたか。で、実はあのコカインバレット氏は東京理科大の薬学部じゃないかとキリユさんが言ってるのですが、もしかしてあなたも東京理科大？で、あの人は最近鍵アカになりましたが、ツイートとかを見ると、どうもマントルヒーターが精密な温度調節に向かないということをよく知らなかったりとか、2015年あたりの私を思い起こすようでした。で、ちょっと情けを出して、ツイートをアドバイスをしたら、ブロックされましたwwただ、私が2015年初頭から実験を始めて、2年でここまで成長したので、あの人物の学歴（薬学部？）を考えると、1年くらいで同じくらいに発展する可能性は十分あると思います。というか、現役の薬学部生なら、半年で今の私を追い越す合成能力を身に付けても全くおかしくないわけで、警戒をしなければなりません。しかし、残念ながら何人もの彼のフォロワーにDMで依頼しても、スパイ行為を誰も引き受けられず.....（天野ほとりさんにまで依頼しましたw）

3月30日

と

というか、あの人物は自宅で実験をしてるから十分な器具がないだけで、もしかすると、大学では普通に私のレベルを超えた、天然物の全合成とかやっけていてもおかしくありません。でなければ、私をあれほど見下したりはしない。資金の都合で自宅にオイルバススターラー（私ののは6万円）を買えず、マントルヒーター（約2万円かな？）にせざるを得なかったのであれば、あのツイートだけを眺めて彼の能力を見くびることは危険でしょう。

3月30日

私

は、マントルヒーターで、あるアミンの塩酸塩（輸入試薬で、高かった）が湿っているのを乾かそうとして（当時は真空ポンプとかもなかったと思う）、徐々に温度調節を上げていき、そのまましばらく別なことをやっていて、焦げ臭いので見たら茶色い煙を吹いていた、なんてこともありました。あれは温度調節が雑すぎます。まあ、あのコカインバレット氏は「還流」をしたいようで、ならばいくら温度調節が雑であろうと、溶媒の沸点以上には決して上がらないので、マントルヒーターでも十分だとは思いますが。

3月30日

な

お、見ればわかると思いますが、「P」は市販の試薬二つを混ぜるだけで簡単にできます。ただし、市販の試薬からやると高いので市場競争力がありませんww

また、THFに溶かされてるグリニャール試薬（東京化成のとかな）よりも、ジエチルエーテルに溶かされてるやつの方が、理由は分かりませんがよろしそうです。ただし、この場合原料を混ぜていくと途中で分離してしまうので、少量のTHFを加えて混和させるのがコツです。作りたければ、指導しますよ。

3月30日

な

ぜTHFだとどす黒いものが出来てしまって上手くいかないのか.....もしかすると、原料を混ぜるとき、ジエチルエーテルの方が猛烈に沸騰して反応熱を吸収し

てくれるので、反応温度が低く抑えられ、余計な副反応を抑えられるのではないだろうか.....と思いました。一番最初（だいが前）に、東京化成のTHF入りグ

リニャール試薬に、エーテルを加えずに直接エステルを投入した時、DMに書いてるように黒いヘドロのような物体が出来たんですよ。で、自分からマグネシウ

ムとジエチルエーテル溶媒でグリニャール試薬を自作した時は、最終製品は結構きれいに（再結晶だけで）精製できました。その後、東京化成のTHF溶液に、

ジエチルエーテルをある程度足した、混合溶液でやった時は、最終製品は結構薄汚れていて（でも一番最初のヘドロよりずっとまし）、水に溶かすと泥水のような

になるので、活性炭処理が必要でした。まあ要するに、THF比率が高いと出来が悪くなって茶色い副産物が多くなるんですよ。

3月30日

ただ、グリニャールの方の基質は、↑上述のすべてで同じわけではないです。東京化成のグリニャールは1種類しか持ってなくて、他のは既製品は高いので自分で作ります。

3月30日

と

というか、「P」の合成は市販の試薬二つを混ぜるだけという簡単さなので、それこそ大学の学生実験どころか、高校や中学でもできそうですwなので、私のこ

れまでの作品の中で、最高の存在である「P」は、実はそんなに技術力が

要らなかったという話ですw まあ、「P」とフッ素の位置が異なるほぼ同等の物質を、ずっと前に既製品グリニャール試薬から作ろうとしてヘドロが出来てしまったせいで、「この反応は難しいんだ.....シリカゲルカラムがなければこのヘドロから目的物を分離できないのだろう」と、悲観してしまって、もうそこで他の構造に転身してしまったんです。で、なんかの拍子に「フッ素の位置を変えたやつを、ダメでもともとで作ってみるかぁ」と考え、で、その構造だと既製品のグリニャール試薬はかなり高いので自分で作ることにしたら、溶媒がジエチルエーテルだったことが実はかなり幸いして、あっけなく成功、しかも薬効はそこそこ（皆さんよくご存じのはず）という、「もっと早くやればよかった」という結果になりました。ただ、回り道できたことは、いい経験でした。

3月30日

あ
あ、それと「キリユさんが元気だった時の実験は失敗ばかり」ということなんですが、実はあとから分かったことですが、私が作っていた「4-フルオロエチランフェタミン」は、もともとひどい薬効である可能性が高く（その後、私が別の合成法で製造した。本当に4F-エチランフェタミンであるという確信は強くない）、実験に成功はしていたんです。ただ、作った物質が本来クソケミであったというだけで.....

3月30日

Grinard試薬家で作る(白目)

まあ既製品は劣化とかあるんじゃないのかな...副反応は合成してみないと分かんないし手探りでやって成功して良かったね。科学は失敗を重ねてできたアマチュア科学者として成功して羨ましい(けど俺は遠慮しときますw)

3月30日

オレンジの人って、すとーんさん？ いぐるらいずさん？

「P」欲しくない？ 欲しくない？（あなたの口調の真似）

3月30日

だから名前を出すなと...wぼかした意味ないやんけw いらないよ。

3月30日

多
分エーテル溶媒の既製品と、もう一つをエーテルに溶かした物（原液だと反応激しい）をモル2：1で混ぜるだけで作れますw もちろん、直前の原料から買うと超高価だけどw で、あとは塩酸、炭酸カリウム、メタノール（またはエタノール）、エーテル、ヘキサンと、濾紙があれば再結晶で結構きれいにできます。
あと塩化水素を有機溶媒に溶かした溶液があるとはかどる。

3月30日

な
お、あの原料は、常温で1年保存すると超劣化するので注意。瓶には「常温保存」と書いてあったんだけどなあ.....多分、エステルと二級アミンが

ゆっくり反応

してアミドになるんだと思う。塩酸塩になってる試薬なら、値段はあまり変わらないし、長期保存も可能らしいけど、塩酸塩だとグリニャール試薬がつぶれてしまう。

3月30日



例の静岡県立大薬学部ですら学生実験だとこの程度やぞ
w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/~yakka/Japanes...

3月30日

いや、その二人のどっちなのかわからなかったの。

3月30日

「この程度」って、十分しっかりした全合成やってるようには見えますが。

「例の」って、もしかしてケミィちゃんが行ってたところだけ？ ああ、静岡大学じゃなくて県立大学だったのか.....確か教育学部？

ケミィちゃんはみんなの反面教師として役に立ってます。

3月30日

「副

反応は合成してみないと分かんないし手探りでやって成功して良かったね」 まあ、合成してみてもわからないこともよくありますw あのDMにはないですが、3-クロロアンフェタミンを作ろうとして、還元剤をRed-Alにしたので、ずっと後になってから、「あの時塩素が外れて水素化されて、本物のアンフェタミンがいくらか出来ていたのか」と気付きました。なお、生成物は飲みました。だって精製手腕がなくて、粉末に出来ず、茶色い液しか得られなかったの

3月30日

「Grinard

試薬家で作る(白目)」 これ、すごいことですか？ ちなみに、私は容器を水洗い後、よくキムワイブとかで拭っただけで、加熱もアルゴン吹き込みも特にやらず、普通に反応を始動させられます。コツは、溶媒を入れずに最初から直接マグネシウムにハロゲン化アリール(臭素)を少量掛け、10分くらいガラス棒でマグネシウムをつぶし続けるだけです。始動したら即座にエーテル投入。

3月30日

い

や、男の、業者さんになった方の出身校。

トリフェニルメタノールの合成をしてみましようだぞ。今のあなたは既にこのステップを超えてる。有機の学生実験なんて副反応なんて考えなくてもいいレベ

ル。副反応、副生成物なんておそらく卒研とか院生でぶち当たる壁でしょ。もう使ってる試薬が俺の知識では追いつかないし。ポリリリトとマクマリーにのって

なかったらもうそれ大学院生レベルですわ。
クエンチ怖い



3月30日

ク

エンチか.....グリニャールのクエンチなんて、直接水入れてもたいしたことないでしょ？ Red-AIのクエンチとか、フリーデル・クラフツの塩化アルミニ

ウムのクエンチとかは危険だけど（なお、塩化アルミニウムは、逆に氷水を入れた容器に反応液を注射器で入れればいい模様。

3月30日

ああ、くろす氏の出身校か.....最近、京大生になった説もあるけど。まあ、薬剤師の場合は薬局実務では化学合成はやらないから、確かにあまり高度なことをしないというのも不思議ではないですが.....

「使ってる試薬が俺の知識では追いつかないし」 どれ？

3月30日

私が教科書としてボルハルト・ショアーを選んだのは、「演習問題の解答編が日本語で出ている」からですw 他のは英語版のまま本屋で売ってたり。というか、演習問題さっぱり読んでいないけどw

3月30日

場数が違うな... Red-AIは分からないのでググった。

まあ学年上がると途端に難しくなるのかも(これは特論なので一通り有機を学んだ後専門過程として学ぶ感じ)

w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/lsocus/text/to...

3月30日

ち

なみに、なんでこの場合に副反応が問題になるかという、他の物と違って「P」は減圧蒸留で精製できないからです。高沸点だし（だから炙れない）、しかも

フリーベースが固体なので、蒸留装置は液体用では対応不能w なので再結晶で精製せざるを得ず、副反応をなるべく減らすことが重要なんです。

多分、水酸基を外したタイプ（いわゆるデソキシピプラドロール型）だと沸点の関係で蒸留対応できるかもしれませんが.....

3月30日

単

純アンフェタミン類、ベンズフェタミン類なんかだと完全にフリーベースにして蒸留可能ですし、 α -PiHPはフリーベースにして熱を掛けると自己縮合する

ので多分無理ですが（やっていない）、直前の物質（催涙性で嫌なんだ、これが）は蒸留できるし、その後の反応では副産物が出るものの、分液と再結晶でそれ

は除去して純白の粉末に出来るので、まだましです。しかし「P」はもう完全に再結晶が勝負。私は、サンプルとして送った奴の再結晶時の廃液にヘキサンを注

いでしばらく放置した後に出てきた結晶（要するに二番煎じ）をかき集めて、日々の自分のスマドラにしてみましたw

3月30日

Red-

AIはLAHの安全版です。まず発火しないです。ただし、試薬瓶のふたにこ

びりついて、開け閉めするたびに蓋が接着するので困るww また、LAHと違って
てメトキシエタノールという親水親油性の溶媒がクエンチ時に生じるので
(精巢に悪影響らしい?)、分液時にうまく上下に分かれない原因になるし、ロスの原因
です。

3月30日

researcher-station.blogspot.jp/2015/08/sbh-tf...

ちなみにRed-AIは微妙にベンゼン環のフッ素を脱ハロゲンしてしまうので(ビトライドと書いてあるのがRed-AIです)、私がずーっとジフルオロアンフェタミン類を作りたくても、売れないでいる(作って自分で飲んだりしたのは)のは、この副反応による法的リスクが大きな原因です。クロロだとさらに抜け
そう。で、まあ私は最近、「酸化剤を使って還元する」というよく分からないやり方を使えば、当然ハロゲンは抜けなくてフェニルアセトン類ができるので、ここからは普通にアミン(アンモニア)とトリアセトキシあたりでやればいんだということを把握しました。

3月30日

なお、3,4-ジフルオロアンフェタミンはMDMA風の効果があるそうで(英語ではなく、別な言語の掲示板。オランダ語?)、原料が高いという一点を除けば、有望なんですけどね.....

ああ、ちょっとご飯食べたいので、これで最後にします。「P」のあの構造、予想からは大きく外れていましたか? そして、あの構造を見てのコメントは?

3月30日

えーそっちかよって感じ。てっきりアトモキセチン辺りからのブレイクスルーを期待してたのもある。まあセレンディピティって言葉もあるしすげえなあとの印象。

3月30日

ス
トラテラww あれ、ノルアドレナリンばかりで、しかも私は葛根湯や麻黄湯で常同行動が入ってスマドラにならないので、ノルアドレナリンは嫌いなので、
そっち系は全くダメ。プロピオンも、最初は(IC50の通りに)ドーパミンに効いて結構いい薬効なんだけど、なんか数時間たつとイラつくんだよね。体内
で、ノルアドレナリン作用偏重のラダファキシンに変わってしまうからだと思う。

3月30日

ま
あ、「P」を手掛けたきっかけが、実験例を見て(正確にはジフェニルプロピノールの実験例だったが)、簡単に1段階でできそうだったから、という、身もふ
たもない理由だったりするw で、前述の通り、初回はTHFに溶けてる東京化成の試薬を使ってあえなく失敗。確か、汚い液を何とか飲んでみた気がするけど、あまり効かなかった(それもそのはずで、「P」とはフッ素の位置が違う異性体であり、またおそらくPと同様にきわめて水溶性が低いため、

飲んだ水には

微量の目的物しか含まれておらず、大部分は黒いヘドロの方に残っていたのではないかと今推理した) という記憶があり、ずーっと手を付けずに放置してい

た.....で、気分転換にフッ素の位置が違うやつをやったら、あっけなく結晶化できて、薬効もまあばっちり (副作用も後でしっかり手足の障害として感じる)、

それが「P」だったわけ。

3月30日

ま

あ、私のファンなら、あの時私がスレッドでトヨタカロラのイメージキャラクター「カロパン」の画像を貼ったりとか、ピプラドロール類について触れまくっ

ていたことと、コードネームが「P」であることで、簡単に予測できただろうと思ってた。で、「沸点が高くて」とかの情報は、ピプラドロールのような水酸基

を持つ物質を連想させるには十分だし、「メタノールには溶けるが云々」という、溶媒への溶解性の情報は、日本新薬のカロパンの添付文書 (私が、それを載せ

てるブログをスレで紹介した) の末尾に書いてあるあの情報と照らし合わせればまあ物性が似てると判断できるし、だから私は、あなたが構造を推定するのは容

易だろう、と思ったよw

3月30日

で、

まあ実は「P」の構造はキリユさんとルイスはかせさんとアレゲ化学さんにはすでにDMで普通に見せている (ただし「P」というコードネームは言っていない)。

そもそも、物質名を秘匿するためにコードネームを付けるのだから)。

で、私はこの「佳作」は、まあばれても惜しくないと思ったし、ツイッター凍結で、私の

戦死が現実的になったので、死ぬ前に言いふらそうという目論見もあった。で、私は今後「名作」を開発した時は、多分上記3人にも、教えない (もちろん卸し

先には伝える)。

3月30日

っ

というわけで、私がなぜ昨日抗ヒスタミン剤のアレグラ (だっけ?) の構造についてあなたに言ったのか、分かったと思う。てっきり、「P」についてもう分っ

てると思っててw で、もしかするとピプラドロールを3位にするとフェニルプロピルアミン構造になるのでオピオイド作用が少し生じるかもしれない.....それ

は吉と出るか凶と出るかはわからない。あと、私が今欲しいのは、「P」の片方だけがフッ素ついてるタイプ。それだと副作用が少なく、精神作用は十分なので

はないかと思うんだけど、残念ながらグリニャールでは作れないし、もう一つの方法であるプロモピリジンを原料にベンゾフェノンをくっつけて、その後パラジ

ウム炭素か何かでピリジンをペピリジンにする方法だと、もしかするとこの水素添加でフッ素が抜けちゃうんじゃないかという法的リスクがあり (しかも、あの

サイズの分子でフッ素1個が水素と変わっただけの物質は、蒸留でもカラ

ムでも再結晶でもどうしようもなく取り除けないと思う)、今の私のレベルでは解決策が見つからない。せめてフッ素じゃなくて塩素か臭素であれば、精製はギリギリできるかもしれないけど、そもそも塩素か臭素はパラジウム炭素でさらに外れやすいわけで.....

まあ、あなたの化学知識を結構高く評価してるので、「P」の片方だけフッ素になってるやつを、脱ハロゲン起こさないで製造するルートがあったら教えてほしいw

3月30日

ボブ氏 @zapabob

除去できなかった痕跡量のアレが末梢神経障害を起こしてるのでは(読破途中)

twitter.com/zapabob/status... これ、私のDMの事でしょうか？ 「P」の手足のしもやけの原因の事でしょうか？

3月30日

な
お、「粗製P」は原料を長時間寝かせておいたので、いざ使おうと思って注射器で引いたら、固形物だらけで注射器が詰まり、まっ茶色の全く透き通っていないドロドロの液体となっており、とりあえず仕方がないのでそのまま使いました。多分アミド、さらにもう一つくっついてトリアミドとかになっていたようです。
で、そのような不純物が混ざったので、再結晶してもほんのりベージュ色となり「粗製」という名前を付けることにしたのです。なお、この原料は減圧蒸留すると透明になりました。というわけで、得体のしれない原料から生じた何かが、「粗製P」の副作用を発生させている可能性があります。いや、この不純物こそが薬効本体だったりしてwww

3月30日

ま
あ、活性炭使えば粗製Pも多分脱色は出来たんですが、あの分子量の物に活性炭を使うのは、目的物のロスが大きすぎるので.....活性炭は分子量100以上の物をよく吸着し、分子量が大きいほど吸着されるので、単純なアンフェタミン類とかの精製には向いていても、ゴテゴテした大型分子の精製にはもろ刃の剣。

3月30日

あ、そうそう、場合によってはあなたとのDMも、すとーんさんにファイル渡すから。すとーんさんの知り合いの業者に私の技術力をアピールするための資料として。

3月30日

私が、この種の合成やってるって想像はしてましたか？ また、私のアンチ(モルグ、ケミィ、こけし、コカイン、P献金、りっぶあたり)連中の間では、どの程度推測されてたでしょうか？

3月30日

今、
実験レシピ見返したら、2016年1月に「P」のフッ素の位置が違うアナログの実験をやって、ヘドロが出来ていたことが分かりました。つまり、この時買ったグリニャール試薬がジエチルエーテル溶液の物だったら、おそらくはるかにスムーズに進んで、その後まもなくフッ素の位置を変えて試して、「P」が完成していた計算になるわけで、いやー、10か月ほど回り道してしまいましたねw

3月30日

「理学系化学科中退(四年時)だからクソだよ」とのことですが、私は大学どころか高校・中学の教育も受けてないわけですが.....

「もう一つは計算ちう」というのは何のこと？

3月30日

キリュさんとかDrなんとか(失念)とかアレげさんと違って俺はラボで研究してないから化学者とはいえないんだよね。化学者として学位が大事ってわけではないけどね。
なんか物質量出してたじゃない。149.2だけ。あれも示性式とにらめっこ。

3月30日

DM転載はやめて。

3月30日

糖
尿病誘発の話、英国の保健当局が作ったピプラドロール系の冊子に4DPMPが膵島細胞に作用しインスリンの生産を阻害するとの記載があるぞ。だが逆に3DPMPのNメチル体は膵島細胞を刺激し何故かインスリン量を増やすともある。機序は不明。ここのアミン窒素は弄るのやめた方がいいのでは。低血糖でア
ボーンか1型糖尿病を作る要因では？

3月30日

転載って？ ウェブでの公表の意味？ それはまだしない。業者に送信することはやる予定。

3月30日

アレゲ化学さんは、マッドサイエンティストなんですが、今は派遣社員です。名古屋あたりの大学で、頑張っていたのですが、爆弾を作って逮捕されました。特に今はしっかり実験できる立場ではないようです。ただし自宅で硝酸合成しています。

3月30日

キリュさんはどういう人が不明ですが、有機合成は大学で経験があるようです。今の職業は不明です。硫化水素で2000人以上自殺した立役者です。

ルイスはかせさんは、どういう人なのか良く分かりません。性別も。自宅でよく実験してましたが、今は鬱のようで.....

なお、吐き気とサイケ（A氏）さんもDMで最近まで質問に答えてくれましたが、多忙になったようです。

3月30日

ああ、あの物質ね。あれはみんなへの謎かけではなく、業者向けの符牒です。私が開発したものが、どの物質なのか、誤解しないように。ってわけで解いたとしても、正解かどうかは言いません。

3月30日

なるほど、その文献読んでみます。（もしかするとすでにPCに保存して
るのではないと思うが、例によって英語が読めないで、何が書いてあるかわからなかった）

3月30日

こ
こをいじろうと思ったのは、もうP系の構造はいろいろ試して、ベンゼン環に修飾していくとどんどん弱くなるからです。そしてチオフェン環に変えると効果なくなるという掲示板情報もあり（フランは不明）、もう芳香環側はいじれないな、と。で、ピペリジン環は1炭素小さくすると弱くなるし、じゃあできるのは、窒素位置変更か、あるいはメチル基付けて3級にするということくらいしかなく。つまり、開発の行き詰まりです。

まあ、P系はそろそろこちら辺で終わりそうですね。

3月30日

薬依ちゃん @yakuichan
返信先: @mfakaneさん
@mfakane @zapabob 解答「不登校の人の中から日本のジョブズやシュルギンが生まれる」

twitter.com/yakuichan/stat... 私はなれると思うかな？

3月30日

気が向いたら、コカインロリータ氏のツイートの転送よろしくお願ひします。

報酬は、「P」の製法（原料合成から、白い粉に精製するまで）を、みっちり手取り足取り、DMで教えるということで。

3月31日

↑の静岡県立大学のPDF、「Grignard試薬（略）その調製は比較的容易であり」とあって、さすが、調製の難しい試薬を普通に使う人たちだな、と思いましたw

3月31日

「臭
化フェニルマグネシウムの合成とその安息香酸メチルとの反応によるトリフェニルメタノールの合成を実験する」とあったんですが、この安息香酸メチルのベンゼン環をピペリジン環に変えたら、まさに私の実験そっくりですw 「ト

リフェニルメタノールの合成をしてみましょうだぞ。今のあなたは既にこのステップを超えてる」なんて言われましたが、別に超えてないと思います。同格です。

3月31日

PDFで「カルボン酸誘導体→アルコール」と書いていますが、多分これは「カルボン酸エステル」と書いても同じだと思いますね。ちなみに、カルボン酸塩化物との反応では、触媒を使うか、低温で行うと、ケトンが主生成物になります。

3月31日

ところで、くろすさんがケミィちゃんの4F-PVPを自分で作っていた可能性について、どのくらいありそうなイメージでしょうか？ w さすがに薬学部生なら作れると思いますが、だとしたら、あの黄色い物質は何なんだろうと思います。

3月31日

大元が輸入して捌いてると思うけどな。それかノウハウレシピあるいは大量に在庫が残されてるのが4fPVPとか4FPMとか5MAPDBなのか。合成は中国、インド、東ヨーロッパ任せでしょ。

3月31日

なるほど。くろすさんが合成している可能性は薄いということですね。それは、能力的にでしょうか？ それともコスト的にでしょうか？

3月31日

両方かな？でも合成してる可能性は0ではないと思うのでそのつもりで... 高々2.3年程度の薬学教育でそこまで出来るようになるとはちょっとね... (あなたみたいにあまり制約なく研鑽できて手数を重ねられる環境にいれば話は別だと思うけどね。)

3月31日

あ、2、3年程度しかまだ薬学部にいなかったんですね.....

まあ本当に私は何百回実験したことか.....

でも、彼はホストなわけで、1か月に100万円とかの給料が入ってくるなら、それこそロータリーエバポレーターもそろえられるわけで.....

あ、そうそう、 α -PiHPって今海外で普通に販売されてるんでしょうか？

3月31日

価格は安いのかとか、もし安いならそのショップは混ぜ物が入ってるのかとかを知りたいです。私の原料探索では、安いレートが見つからないので。

3月31日

RC24 スウェーデン 1g 399kr
(約5000/)

legalchem チェコ？ 1/パケ(g辺りなのか不明)辺り7.72€(約923/)

イギリスのNPS法案が施行されてからRCベンダー、フォーラムが停滞してるからSafeorScamも機能してないので参考までに...

flashback(スウェーデン)はスレめちゃ伸びてるけどアセトンで洗いこんでるやつがいたりするから純度はお察し。

tripfactsheetにも至適量が上がる辺りそこそこユーザーがいるのでは？耐性形成が早すぎてあまりレポートが上がってこないのではとも。

昨年11月には中国の国立麻薬研が既に構造同定と分光分析の論文をあげる。

3月31日

1グラム5千円ですか、そこそこですね。この価格なら私も希望がありませんw

フラッシュバックというのは、掲示板名ではなく、業者名ですか？

なるほど、中国の件、それは中国での製造は厳しいということですかね？

3月31日

ちなみに、あの化合物で一番高いのはあの分岐炭素鎖なんですよ。とりあえずセオリー通りなら、メチルバレリルクロリドとベンゼンでフリーデル・クラフツなん
ですが、この試薬はまだまだ高価です。で、メチル吉草酸はその何分の1かの値段なので、コスト的にはこっちが適します。ただし、カルボン酸はそのままでは
グリニャール試薬と反応しないので、何かで塩化物にするか、あるいはアルキルリチウムと反応させることになります。塩化物にするのは、かなり刺激性の強い
試薬を使いますし、結構健康被害が出るので嫌です。ただリチウムは、ベンゼン環に直接くっついたりする反応がありそうですので、上手くプロモベンゼンに
くっつけられるか.....まあ、蒸留で精製すりゃいいんですけどね。

3月31日

ちなみに、グリニャールで通常とは逆にハロゲン化アルキルから調整する手法の場合、この骨格ではハロゲン化メチルペンタンがものすごく高いので、全く実用的ではありません。つまりプロモベンゼンの方からグリニャールにしないといけない。

というわけで、私が今把握している一番安い原料は、メチル吉草酸です。

で、まあそろそろ α -PiHPは規制なので、それを見越してフッ素が付いているやつでも開発しておくのが有利かな、と。

3月31日

今、Isohexanolを買って酸化してアルデヒドにすればいいかなと思ったんですが、これも高すぎましたねw

3月31日

フラッシュバックはスウェーデンの匿名BBSね。hyperreal.infoはポーランドのそれ。

中国もそこそこ(RC工場として悪評が高いので)外圧が強いから突然供給が絶たれることもありえそう。個別指定を一気に150くらいする感じ。多分その辺りの合成スキーム、原料選定は(高度な正規教育受けている)有機合成や工業化学のプロがg~kgスケールまで拡大してると思われ。

3月31日

ボブ氏 @zapabob

返信先: @cocaine_lolitaさん
@cocaine_lolita The Drug Classroomく
らいしか知らなかったです。オススメ
あったらぶん投げてくだされ

線

twitter.com/zapabob/status... さ
て.....私は彼のツイートを見ることが
出来たら捗るんだが.....

要するに、スウェーデンのBBSで、PiHPの純度が低そうな話が出てるっ
てことは、RC24の商品が低純度だということ？

g~kgスケールって、ずいぶん幅があるなw グラムレベルなら私も対
応可w

1グラムが5千円で、しかも純度が悪いとは.....

まあ、カチノン類は、蒸留すると自己縮合して大変なことになりますから
ね.....

しかし、前段階のプロモケトンをきちんと蒸留すれば、最終段階でそんな
に汚くはならないはずなんだけど。

3月31日

SafeorScamって？

しかし、日本で確実にPiHPをやったことがあると思われる池沼さんは、
他者のはやってないというし、いぐるらいずさんも多分してない.....比較
不能ですねw

3月31日

あなたは、最近はこの輸入とかはやってますか？ あと数か月し
て余裕が出来たら、私がPiHP作ってお送りしてもいいです。海外品との
比較（ただし、物性などについて）をしてくれればうれしいですが、全く
健康被害、そして依存症については責任を持ってません。

3月31日

向こうの工場でのgスケールっても一度に500g程度仕込めるレベルじゃな
いですかね。

輸入は大分前の差し止めで廃棄してからやってないね。ブラックリストに
あと7年前後乗るはずだし。あと、金がない(これが全て)

SafeorScamはベンダーの怪しさの指標(誤送付、混入等のレポート群をま
とめて投票したもの)

気持ちだけ頂いて置きますね。

3月31日

なるほど、それいいですね。日本でも作ってほしいです。ライブは3~
4、アップ屋は4あたりかな。

3月31日

作りませんか？ 私は国内店にさっぱり詳しくないので、例えばあずうす
さんとか、国内店に詳しい人たちを集めて。そして、資金を募って、定期
的にエクスタシーデータに怪しい店の商品を送付。

3月31日

今、あずうすさんにこの画面を送信しました。

3月31日

エ
クスタシーデータって、確かに便利なんですけど、名無しの人があそこに物を送っても、スレで報告して「ライバル店の営業妨害じゃないの？」と叩かれるのが目に見えています。しかし、一定の信頼性があるところが、公式サイトで「○○店を送った」と言えば、まあそこそこ信用はされると。

3月31日

twitter.com/SCB2017 あなたがリツイートしてるこって、何？ 乱交サークル？ 投資？ 薬物は関係ないよね？

3月31日



慶應生がよくわからんツイート 漫画の中のセリフを言ってたのでrt

3月31日

な、なんだそうかw

3月31日

今後エクスタシーデータが、日本の脱法ユーザーの匿名検査機関になれば幸いです。なお、私はお金は出しませんwww モノ（薬品サンプル）なら出しますので、それをグループ内で使うなり売りさばくなりして、運営資金を稼いでくださいww

なお、私はすみっこさんにそれとなく「出したら面白いかも？」と言っただけで、約1.5万円くらいを負担してくれて自分で送ってくれましたw

3月31日

1~2か月に1回、1.5万円程度の費用を使うことで、怪しい店の怪しい商品をチェックするというやり方が整えば、規律正しくなります。

3月31日

私
にとっては、「偽脱法業者」は潰れて欲しいんですよ。原料が安価なPVPや4F-PVPを使ってるんなら、私のジフルオ口体とか、頭を使って考え出した、安全な構造が無意味になるので。こっちは高い原料しか使えないのに、自称脱法業者は、安価な違法原料使いまくって安値で売る。薬九層倍ですよ。

3月31日



多分あの成分分析結果の開示は衝撃と畏怖を与える一撃ではあったと思う。

3月31日

で、原料価格だけではなく、特にハロゲンが付いた未規制物質は、反応過程まで高価になる可能性があるんです。なぜかと言うと、ハロゲンが付かないベンゼン環の場合、強力な還元剤を使って雑に反応を行なっても平気なのに対し、ハロゲンが付いてる物は、安価で強力な還元剤が使えないので、高価な還元剤を使ってハロ

ゲンを抜かないようにするか、あるいは還元をしない迂回ルートを取らざるを得ないんです。なので、原料価格の差以上に、製品価格は高騰します（還元反応が必要な物質の場合）。

3月31日

ちょ

うど昨日私が言った、「3-クロロアンフェタミンを作るつもりで、単純にRed-Alを使ったら本物のアンフェタミンが出来ちゃった」という件ですね。あのとき、減圧蒸留設備を持っていなかったので汚い液体しか得られず、販売に回せませんでした。設備が整ってたらうっかり売ってしまった可能性があり、ヒヤリハットです。

3月31日

あ

と、「P」も、その原型であるあの医薬品は、ピリジンから作って水素還元したりしてるみたいです。あとメチルフェニデートもピリジンから作って最後に水素還元するのが工業的によくあるそうです。しかし、塩素やフッ素が付いてるメチルフェニデートは、このルート使うと多分ハロゲン抜けが生じるので、別ルート使わざるを得ないんです（少量の不純物混入を許容する場合を除き）。そういうわけで、ハロゲンが付いてるやつは通常の工業生産法を適用できないので、きちんと未規制物質のみにするには、かなりの神経を使う必要があります。

3月31日

で、そういう私の苦勞を尻目に、脱法と偽って規制物質をメインで配合しているブルマジみたいな、悪質な商品はどっかに（Tor板あたりに）行ってもらわないと、私の高価な物質はどこにも売れないですよ……

3月31日

あ

あそうそう、確かアニリン環をプロモベンゼン環に変える反応があったはず。プロモアンフェタミン、ヨードアンフェタミンはもしかしてこのルートで作ってるのかも。で、アニリン環が付いたメチルフェニデートやピブラドロールを作り、最後に臭素とかに変えるって手が出来るなら、もしかするとピリジンから接触水素還元する手法も使えるかも？ いや、アニリンの窒素が、水素還元で抜けてアンモニアとベンゼンにならないかどうかは未確認ですが。

「衝撃と畏怖を与える一撃」というのは、沙耶以外の、一般の業者に対しても？

3月31日

Analogに当たるbis[3-chloro(略)はPt/H還元でやってるね(patent US2957879 引用 m.p · HCl 261-262℃)
Fの水素結合能を鑑みればかなりm.pは高いわけだね。

3月31日

えーと、ビスってことはメチルフェニデートじゃなくて、ピブラドロールの？ え、それ見たいwww フッ素とか塩素付いたアナログの資料、私

知ってなかった。

和光純薬で出してる、パラジウム炭素に特殊な加工をしたやつは、特定の官能基だけ抜いたりできるそうですが.....

その、mpが高いというのは、フッ素化体の方が、そのクロロの物よりも融点が高いということ？

あ、もしかして塩酸塩の融点とフリーベースの融点で考え方が異なるのかな？

3月31日

なお、フッ素系化合物（例えばアンフェタミン中間体）は、フッ素の位置ですごく融点変わるよ。多分塩素でも。特に3位に何かついてると、常温で液体。2位とか4位だと、常温で固体。2、4位の両方でも。

3月31日

客

層にも業者にも当局にもだね。大阪の架空住所の件は近畿じゃないかなって感じで見てる。

フリーベース(遊離塩基)とHClがイオン結合したのが塩酸塩なわけで安定状態にしている方がfreebaseよりHCl saltのm.pが高いし芳香環

についてるのがClでなく、水素結合能があるFが分子間、分子内、(あるいは空気中の水分子と水素結合しているから)m.pはかなり高く見積れるという感じ。

専門的には下記のリンクなんかも参考になるかと



3月31日

近畿って？ 近畿麻薬？

なるほど、塩酸塩の場合ね。フリーベースの場合は別と。

3月31日

なるほど、これ下手すると、ピプラドロールの2位をフッ素化したものを作ると、色々作用がありそうですね。

あと2位がフッ素化されると、カチノンの場合は脂溶性が下がるとか。多分ピプラドロールもそうなりそう。

3月31日

そのとおり近マじゃねえかなって。あ、フリーベースでも塩でもフッ素のこの能力は変わらないですよ。物性予測には考慮にいれたほうが...



3月31日

近麻.....しかし、それなら架空の住所より、職員の自宅にした方がいいのでは？

それとも、国家機関だから、架空の住所で投函されても、事前に郵便局に手回しして、封筒を手にする事が可能？

3月31日

あいつらオトリやれるんでなんでもありですよ。

コントロールドデリバーとかもやるし

3月31日

っていうか、国家機関なら、メールを返信しても1か月近く放置ってことはないですよ？ あのせいで、私が結果的に送らなかったわけで。きちんとメール返してたら、多分すぐに発送したはず。

3月31日

まあ、私が1か月近く物を送らず、その間に偶然住所が偽物だと気付いたため、結局捜査に失敗してるわけで、「劣り捜査」でしかないですが。

本当に麻取なら、もっと「すぐれ捜査」になるはずですよ。

3月31日

えーと、フリーベースでもフッ素が付くと融点上昇？ それは「塩素よりも」だけではなく、「水素よりも」ですか？

例えばパラジクロロベンゼンとパラジフルオロベンゼンのような単純な化合物でも適用できるんでしょうか？今この化合物の融点調べてないですが。

3月31日

FとClの違いはこの水素結合ができるかどうかによって融点、沸点などの相転移点(液→固→気や昇華)の物理化学的なパラメータに影響モロにでます。このあたりが脂溶性ひいてはBBBへの親和性、つまり中枢移行性にも絡むのです。

3月31日

なるほど.....もしかすると塩素の方がフッ素よりも中枢移行性が悪かったりするってことってありますか？

3月31日

フッ素は、数が多くなると沸点が逆に下がったりと、結構予測が付きにくいですね。フルオロアルカン類の沸点を見ると、フッ素の数が多くなるにつれ、沸点は少し上がっていき、さらにどんどん下がっていくという興味深いグラフになるようです。

3月31日

まあこころへんの話は神経薬理学、大脳生理学になってきて門外漢なんであれなんですがこのあたりを参考にさせていただければ
jstage.jst.go.jp/article/faruaw...

3月31日

ありがとうございます、見ます。

3月31日

例えば海外フォーラムで、4-クロロ- α -PVPは効かないという話が出ていて、なぜ塩素だとそうなのか.....とずっと考えてました。

3月31日

それなのにCTMPはよく効くし、一方でアップ屋のあのオピオイド（ジクロロ口体）は私にはさっぱり効かなかったし、どうも謎です。

もしかすると、塩素が付くと血漿タンパクに吸いつけられるのかなーと考えています。CTMPIはエステルなので物性が違うのだろうか、とか。

3月31日

あ、ところでちょっとお聞きしたいんですが、大学とかで化学実験を行うとき、試薬を新たに買う場合、その試薬の金額については、一番安い物を購入するように、教員から要請されるのでしょうか？ 例えば、国内品が高い場合、海外品を選んだりとか。

3月31日

出身大では購入したことなく東大医学研究科のラボでのバイトでは普通にリストアップされたやつ買ってましたよ。
先端化学や分子生物学だと試薬に入ってる痕跡量のコンタミがキーになるような反応もその逆もあったりするので場合によってはメーカー指定してる場合もあるとは聞いたことがあります。

3月31日

ただ試薬特級が要求される時はあると思います。

3月31日

ああ、なるほど.....あ、つまり理系大学だと、学部での化学実験で必要になる試薬は、たいていすでに大学の薬品庫にあるわけですね。そしてあまり各メーカーの物を比較して購買する機会はない、と.....

3月31日

要するに、理系大学でも、少なくとも学部までは、学生は試薬の値段をあまり気にすることもなく（場合によっては値段を知ることすらない）、試薬を使用している環境にあるということなんですね。

3月31日

な
ぜこれを聞いたかという、ある業者（の知り合いの方）から、場合によってはあなたに投資（出資）したいという話があり、もしそれが実現すれば、私の設備
や、原料購入費は一気に充実するからです。フェニデート系の合成をする予定だったのに、ギリギリで資金が尽きて、それが不可能になってます
w ただ、くろ
すさん、コカインロリータ氏という専門教育を受けたライバルが二人も存在し、他にも表に出てこないライバルたちがいると思います。私が、もし向こうから
「あなたが彼らに勝る点は？」と聞かれた時、学歴では絶対的に劣ってるし、知識面でも、理論計算（たとえばpkaがいまだにわからない.....なんでメタンが
あんなに数値的に強アルカリを指すんだらうと理解不能）については全く素人ですし、実技を通して身に着けた、ごく一部の反応の経験があるだけです。現時点
でこそ、コカインロリータ氏（ニトライトは合成したみたいだけど、それ以外は???) に対しては初動の差で勝っていますが、やがて追いつかれるだらうと言
われれば、否定できません。そこで、私が大卒者・院卒者に対して勝ってる部分というものがあるとすれば、「試薬を自分で買うので、コスト意識に厳しい」と
いう点ではないか、と思ったのです。日本のメインストリームの化学者は、大学・大学院・就職後の製薬会社や研究所で、何か化学反応を行なう場合、すべて組

織が試薬を出してくれるので、生涯ずっと試薬の費用を計算する機会がないのではないか？と思ったのです。そして、この事は、「試薬が高いので、別な反応がないか調べてみたり、あるいは高い試薬を安い試薬から自作してコストを削減したりする」というコスト削減に注力する動機に乏しいのではないかと想像しました。つまり、私は限られた自己資金の中で、最大限の収益を上げるため、一つの化学物質を製造するために、より安くできる反応がないかを探索するという努力を、これまで無意識のうちにやってきました。しかし、振り返ってみれば、私が無意識のうちにやってきたこうした「別ルートの探索」という行動は、もしかすると世の中の多くの化学者にとっては無縁の物だったのではないだろうか？と最近気づいたのです。東大などの難関大学ほど、税金（科研費）が多く投入されているので、難関大学のエリート研究者ほど、予算を気にせずに試薬を使えるわけで、逆にエリートほどコスト意識に欠けるのではないか？という逆説が成り立つ可能性も十分にあると思います。私は、もし自分の学歴などについて、出資者から不安を述べられた時は、この論法で反論しようと思います。

3月31日

あ、コカインロリータ氏の学歴については、確定ではありませんね.....キリコさんの説では東京理科大の薬学部、一方、ルイスはかせさんは、「あまりきちんとした教育を受けていない」と評していました。もしかすると私と同様に一切学校に行っていないかもw

3月31日

そういえば私が「P」の合成に成功したのは、あの構造の既製品のグリニヤール試薬（THF）が高いので、ジエチルエーテルを溶媒にして自分で作ったことが要因として大きかったわけです（笑） 貧しかったので、成功しました。

3月31日

院

生になると教官に伺い出して買ってもらったりとか予算内で買うとかで学部生は丁稚レベルの扱い。国立大や難関私大においては学生は授業料払って研究させて

もらうんで試薬の値段なんて(一部除く)大したことはないんですが収率が低すぎるもの(天然物合成、全合成系)は湯水のごとく試薬使ってμgからmgオー

ダーでの合成スキームの確立が目標なので。

製薬企業は逆にコスト人件費ギリギリに決まっているので可能性のないものは試さないしいかに活性があるかふるいわける創薬ライブラリ作ったり特許出すために

類縁体の活性まで見たりめっちゃ努力してますぜ。別ルートの合成は合成研究者ならむしろ無いといけないスキルです、ボ(略)の逆合成解析なんかが良いかと

まってますね(p.p334-343 第四版 上巻)、

低分子創薬(とりわけPEAを基本とする中枢神経賦活に関しては)も枯れた分野なので大体誰かが見つけて特許で押さえたり(我々には望ましいけれど)多幸

感があったり興奮作用があったり、(例えば4DPMPのように)思わぬ毒性を持ってたりでもう先細りでないのかなと思ってます。科学の発展に学位は要らな

いですからね(先人に結構いますよね)

これから先人工カンナビノイド/オピオイドは分子生物学の知見(CB受容体ファミリー/オピオイド受容体ファミリー)がフィードバックされているのでまだ
まだ出てくるはずです。

3月31日

反応で出てくるガスは活性炭フィルター換気で大気放出ですか？そのまま？

3月31日

Pipradrol and Pipradrol Derivatives - Novel Psychoactive Substances -
page 233
pocayo.com/Tutorial/topic...

3月31日

なるほど。学部までと院では購買事情はかなり違うんですね。逆に言うと学部卒で進学しなかった人の場合、あまり試薬の比較などのやりくり方面の経験をしていないと考えられるわけですね。ただ6年制の場合は最後2年は大学院に近い可能性もありますが..... ただ、それだけでも、くろす氏と私の能力を比較された時のアピールにはできるので大丈夫です。

3月31日

なるほど、工業化学者ならば、一番安いルートを探すのは普通ですね。「プロセス工学」の本で、より安価に上げる方法が載ってました。逆に言えば、こういう「プロセス工学」を学んでる人は少数派なので（私にとって一番必要な分野ですが）、私が頑張れば追い越せる、と。ちなみに、この本では「3-トリフルオロメチル基を持つグリニャール試薬が爆発性を持つと知らずに合成し、後で知ってヒヤッとした」と書かれていて、私は事前に鈴木仁美氏の分厚い本（だったと思う）で読んで知ってたので、「あ、プロでもこういうミスはあるんだな」と思い、なんとなく親近感があったものです。私のヒヤリハットは、「クロロアンフェタミンを作ろうとして、おそらくアンフェタミンが出来てしまった」という物ですがw

3月31日

「別ルートの合成は合成研究者ならむしろ無いといけないスキルです」ただし、「自分の財布が痛むから」という動機ではない（あくまで会社の金）と.....

3月31日

放出剤は構造的に限界があるので（ドーパミンに近い分子サイズにしないといけない）まあもう発展が限られていますが、再取り込み阻害剤は、もういろんなものを作れるので、まだまだですよ。「P」とかね。www

3月31日

ただ、再取り込み阻害剤は、活性はあっても炙れない場合も多く、炙れるものは分子サイズが小さいので、ちょっとジレンマがありますね。「P」

とかね。wwはあ...

ガスが出る反応ってやったことないです。

3月31日

例

例えば3-クロロアンフェタミンを作る時、Red-Alなんかで一気に入ミン化しないで、塩酸と鉄粉で「ネフ反応」を行ない、フェニルアセトンにして、その後アンモニアをくっつけるなら多分塩素は大丈夫かなという気はしますが、このネフ反応ではあの亜酸化窒素が出るらしいですよ。指定薬物製造www で
も、あれって計算上105%まで吸わないときちんと効かない超低力価のガスだから、あれが出てまあ大丈夫かと.....

あ、もちろん、還元剤使って水素が出るとか、反応熱でエーテル蒸気が出るというのはあります。でもこれは活性炭で意味ないし。

3月31日

地

味にヤバイのはボラン（ジボラン）で、無臭なのに猛毒で、なぜか咳が出てしまい、ハッと気づいた時には遅いという危険物です。水素化ホウ素ナトリウム使用時に、出ます。ただ、別にネット見ても水素化ホウ素ナトリウム使用時に有毒ガスが出るという話はあまり書かれてなくて、みんな気にしてないようです。

3月31日

な

お、ジボランが危険なのは発火性です。火種がなくても燃えます。ある時、水素化ホウ素ナトリウムを別物質と混ぜて還元力を高めようと試行錯誤していたら、いきなりポツと緑の炎が上がりました。蓋をかぶせてすぐ消せましたが。まあ、安価な水素化ホウ素ナトリウムを触媒で強化して使うというのは工業的に魅力があるようで、実機でやってる会社もあります。
ffc.fujifilm.co.jp/cmo/reaction/b...

3月31日

カンナビノイドやオピオイドのような、受容体直接作用薬は、ちょっと構造替えただけですごく活性が変わるから、私はなんか怖いんだよね.....覚醒剤のような間接タイプは安全。

3月31日

ああそうそう、ご存知かもしれませんが活性炭と水素化ホウ素ナトリウムを混ぜると、しばらくしてから燃えるそうです。

3月31日

すみっこ@箱入り捨て猫 @nos_...

返信先: @yakuichanさん

@yakuichan いやゆうべ内臓が痒くてさあ（などと意味不明の供述をしており

twitter.com/nos_da/status/... アップ屋のFUCKというカンナビ？をやったらしいです。内臓かゆいって？ あのカンナビの中身分かりますか？

4月1日



わからんねー FUB-PB-22とかかかね？

4月1日

なるほど。内臓が痒いとか言ってるけど、以前アメリカで話題になった腎臓やられるカンナビじゃないよね？

4月1日

awabi.open2ch.net/test/read.cgi/... ここで引用したように、あの人「日本最先端のアンダーグラウンドケミストリー研究室がワイの家や!!!!!!!!!!!!!!」と言ってるんですが、どう思います？ 私の研究所と比べて。

4月1日



あなたの方が上でしょ。

4月1日



腎臓に来る合成カンナビ多すぎてわからないw

4月1日

ああ、分かった、ありがとう。

4月1日

そんなに多いのw カンナビに詳しくないけど、開発するときは腎臓毒性に気を付ける。まあ、多分脂溶性が高ければ肝代謝になるけど、そうになると肝臓毒性がwww

4月1日

しかし、スターラー買ってないのに「日本最先端」とか、何考えてるんじやボケエって言いたくなって、怒りのあまり、↑のレスを書いてしまったが、鍵付きになって、動向がつかめず弱っているww

4月1日

あの子の最近のツイート情勢どう？ 私についてどんなコメントしてる？ まだ、馬鹿にしてる？ それとも、反省中？ あるいは、まさかキリユとのDMとか見てすらいないとか？

っていうか、マジであのツイートは陽動で、本当はずっと進んでいる（あるいは、自宅の設備は簡素だが学校では高度なことやってる）んじゃないかと疑ってしまう。

私がそうだったからね。ずっと、化学実験やってるって話、公開してなかったわけで。

4月1日

っ
ていうかさ、私がキリユ氏とのDM公開を決めた、背中を後押しした事情は、あの子がああやってツイートで、自宅で合成やってるって日記にするのを見て、

「こういうことやっても麻薬取締官には注目されないんだな」とか思い、「他人がやってるなら私も」と思ったというわけがあるんだよね……で、やっぱり麻取は注目してそう？


4月1日

な
お、あの人は還流装置（縦型の冷却管）持ってるけど、私はない。今まで還流とかする反応はなかったの。無溶媒か、溶媒の沸点より5度ほど低い温度で長時間加熱し続けるだけで済んだ。ああいう、内部にらせんが入ってる冷却管は持ってなくて、斜めに設置するリービッヒ冷却管くらい。

4月1日

で、ちょっと思うのは、あの人は蒸留装置はあるのだろうかということ。あのタイプの冷却管は、横置きにすると当然流れないので、蒸留には使えない。あくまで反応時の還流だけ。もしかすると、蒸留で精製する予定はないのか……であれば、私の方が純度では勝てる。

4月1日



まあ、俺も彼からそんな好かれてないみたいだしあまり気にして見てなかったわ。手札はまだ隠し持ってるのでは？簡単なものくらいならそんなに投資はいらんだろうしどうなんだろね。

4月1日

なお、「P」は元々蒸留不能なので、再結晶と活性炭でなんとかするしかない。でも、有害物質が入っていても、「工業用の化学薬品なので」でOK。森永が工業用のリン酸ソーダを買って食品に転用した時みたいに、買った側が悪いという理屈で……

あ、そんなに好かれてないのねw

4月1日

で、
ということは、彼の気が変わって、あなたをフォローから外す可能性はあると思う。で、提案なんだけど、今のうちに彼の「ツイートと返信」のここ1か月分くらいを、PCに保存しておいた方がいいと思う。将来的に、誰かにそれを見せるかは別として。私じゃなくて、例えば警察や麻取に、何かあった時に提出するための資料としても使えると思うし。

あの人、フォロワーがこの間まで30だったのに、少しずつ外して今は25くらいまでになってる。徐々に切ってるようだ。

明日はあなたかも？

4月1日



かもね。

4月1日

確かに簡単な物はほとんど投資不要。「P」は蒸留装置要らないし、再結晶だけでなんとかできる。活性炭があればなお純白に（ただし活性炭微粉末を濾過でぞ

けるフィルターが必要です)。彼にグリニャール試薬を作る能力があれば、そしてナミキ商事の事を知っていれば、もう本当に私と同じコストで「P」を製造できる。彼に友達がいれば売りさばける。

4月1日

あの人、グリってる。私が別アカウントで、彼に気に入られるようにフォローしたのに、いきなりブロック。

いや、まさに私だったんだから、グリは凶星で正解だったんだけどもwww

4月1日

田口綺麗さんとか天野ほとりさんとかは、スパイ依頼をすると「正攻法でどうですか」とか言ってきましたが、ああ、うん.....論外だよねと.....

4月1日

まあ、何か私に送りたいファイルあったら、 reizei@zoho.com までいつでもどうぞ。匿名で構いません。

いろんな人に教えてるんで、誰から来たのかは私に判別できません。

4月1日

誰か幼女を雇わなければ、彼の心を開くことは不可能なレベルw

4月1日

chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/...

この物質、動物実験での毒性数値が異常に高い.....ピブラドロールの窒素をメチル化して、水酸基を付けただけなのに、かなり怖い。メチル基が原因なのか、水

酸基が原因なのか。そして、毒性は「強烈な再取り込み阻害作用に伴う物」なのか、それとも、全く異なる部分に傷害を与えるのか。なんか、手を出しづらい予

感がする。窒素をメチル化したピブラドロールとか、原料さえ安ければ脱法ドラッグとして有望なはずなんだけど、この毒性を見るとね。

なお、ピブラドロールそれ自体は、この物質より毒性数値は低いです。ただ、静脈投与が他のルートより著しく有毒という傾向あり。

9か月

chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/... ←フリーベース

chem.nlm.nih.gov/chemidplus/nam... ←塩酸塩

まあ、「フリーベースのピブラドロールをどうやって静注したんだろう」という疑問はあるw 塩になってない、水溶性の低い物質を静注できるんだろうか.....

9か月

bluelight.org/vb/archive/ind...

chemspider.com/Chemical-Struc...

脱OH体は物性予測でてるね

毒性試験について調べたけど水に難溶のときについては出てこないな(大過剰に溶かしてから段階別の各濃度に調製したのをivしてるのでは)

つかSCH-5472としてすでに中華ベンダーが扱ってるけど...(白目)

9か月



chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/... この物質、「デオキシピプラドロール」というんですね。紛らわしいw

9か月

chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/... こういうのはあって低毒性ですが、肝心の、メチル基があってヒドロキシ基がないやつが見つからない.....

ああそうそう、すとーんさんがなぜか、「M」がCTMPなみに効いたそうですw

9か月

SCH-5472は、これそのものじゃなく、水酸基の場所が異なりますね。

9か月

ピペリジン環の方に、あの位置に水酸基やメトキシ基が直結したのはそんなに猛毒じゃないようです。

9か月

chem.nlm.nih.gov/chemidplus/rn/... 窒素にメチル基が付いてないのではこういうのも。

9か月

twitter.com/hachisu_chan この人にスパイ依頼しようかと思ってる。さて、この人が誰なんだかわからないんだが.....金銭的に貧しそうなので、何か餌があれば.....ドラッグとか.....

いやー、スパイ計画きついですね。なんとかしないと敗戦必至。弱小国イスラエルのモサドになった気分です。

9か月

「P4」欲しくない？ これ、実は効くよ。あとでスレに書くけど、効かないと思ってたの勘違いだった。

9か月



お気持ちだけ頂戴しておきますよ。もースレに名前出さないでくれよな〜頼むよ〜

9か月

え？困るの？w

9か月

あ、ちょっと聞きたいんですけど、なぜ「P」に対して興味を示さなくなったんでしょうか？ 副作用が強いことが分かったから？ 実は工場でなくて私が作ったことが分かったから？ 糖尿病が悪化したから？

あ、正確に言うと「P」じゃないですね.....「P」は在庫切れなので。「P」というか、私のP系の作品に対してです。

それとも、構造が分かったら、もう欲しくなくなったとか？

犯人の名前がいたずら書きされた、ミステリー小説を古本屋で買った時のような？（私はミステリー読みませんが）

9か月

構造が分かった(分からないからといっては言っていない)のとやっぱ製造過程の推移をPDFで見たからかな。

どこで作ろうが誰が作ろうがこういうものだし環境、純度やら毒性やらは仕方ないけどね。

まあ、そのうち何処かで引いたものがひょっとしてあなたが原料供給した物って事になってからで良いかなと。糖尿はお陰様で無事正常数値に収まっています。(リスパダールのせいかも?)



9か月

あ、すみません、ざっくり言うと、私の製造技術に対する不安ということでしょうか？

(いや、PDF見る前も、送ろうかと言ったのに興味示されなかったような.....)

まあ、あのPDFには、「P」の製造過程は全く入ってませんがw 「作った」という結果だけいきなり報告。

あ、糖尿病、一応治ってるんですね。

ああ、私が作ったものではない、工場製の作品あるんですけど。

9か月

な

お、なぜあなたにこういう話を持ちかけてるのか、不思議に思われてるのかもしれないが、私がすみっこさんと仲良くなり、私の「アドバイス」であれをエクス

タシーデータに送ってくれて(費用の1.5万は全額負担してくれて)、すみっこさんが旧知のケミィちゃんを裏切り、私の側についたのは、ひとえに、「粗製

P」を含め、私が無料でサンプルを送りまくったからだと解釈しているのです。一方で、ケミィちゃんは有料で(しかも若くてかっこいいあずうずさんにはもっ

と安く売ったのに)規制薬物を売りつけたという点で、私と大きな差が出たのです。はっきり言おう。私があなたに薬を送りたがっているのは、コカインロー

タ氏に対するスパイ行為をしてくれないかなという期待からだ。もちろん、時々海外論文を見て得難い知見を教えてくれていることへの感謝もある。でも、医薬

品じゃないので、決して安全性に信頼を置かず、有害な影響のない用途に限りますが.....

9か月

正

直言しますと、すみっこさんの前例があるので、「ドラッグを無料で送れば人はなびく」という成功体験談を信頼しすぎているのかもしれないです。で、あなた

に↑の発言をしたことは、もしかするとあなたにとっては、「金や薬で動く男だと思われてるのか？」と、ちょっと不快かもしれませんが。ただ、私にできること

はこれしかないのですよ.....以前、「粗製P」を送りそびれたうえ、例の偽住所業者のために取り置きしていた「粗製P」の一袋を、依さんに回してしまった件

は、ちょっと申し訳なく思ってるんです。実は、私はあなたに対しては、直接物を送ると「誤摂取」時のリスクが高いと思うので、誰か(たとえばすみっこさ

ん)に、頃合いを見て、あなたに転送してもらおうかな、と考えていたん

です。はっきりとこの考えをあなたに示さなかったので、ちょっと壁を作ってしまった
かもしれません。あと、私は別にあなたとかすみっこさんを「利益で動く軽い人だ」と思ってるわけではなく、私自身が商売人である以上、利益で動くのは大切なことであると認識しています。そして、今の私は軍資金も尽きて、ますます以前よりも目先の利益を探求しなければならなくなりました。掲示板で「A」という物質を売り出すと宣言したのも、そういったこと（資金難）が原因です。

9か月

工場製の製品も、興味あれば送りますよ。ただ、サンプル時点では構造は非開示。純度は98%以上。

9か月